

Together

Shukutoku University Magazine
No.238 | 2022.10.1



淑徳大学フェア2022 in 横浜

新生淑徳大学はじまる!

学長からのメッセージ
全7学部13学科へスケールアップ!
全学共通の基礎教育科目がスタート!

地域共生センター創設
共生社会の創出をめざして

淑徳大学 SDGsへの取り組み

ウィズ・ユー 在学生紹介

【学生×学長対談】

資格取得を通じて視野が広がり
学際的な学びを得る

淑徳人 No.236 Interview

自主性を重んじる淑徳大学だからこそ、
やりたいことをやり切れた

ともいきのこころ

学祖・長谷川良信先生の足跡

CAMPUS NEWS

2023(令和5)年、新生淑徳大学はじまる

淑徳大学の在学生ならびに保護者の皆様、卒業生の皆様、また、本学に進学を希望する皆様や本学を応援してくださっている皆様に、2023年度よりスタートする新生淑徳大学についてご紹介させていただきます。

まず、新たな学部・学科の設置と移転についてです。

現在、本学は4つのキャンパスに6学部11学科で運営しておりますが、新たに、埼玉キャンパスに「地域創生学部 地域創生学科」(入学定員95名)、東京キャンパスの人文学部に「人間学科」(入学定員100名)を設置してまいります。過日、その届け出が受理され、定員についても認可を受け、開設に向けて準備を進めているところです。そして、現在、埼玉キャンパスにある「経営学部」を東京キャンパスへ移転するとともに、「経営学科」の入学定員を110名から150名に増員いたします。2023年度より、経営学部の新入生は、東京キャンパスにて学んでいくこととなります。

これにより、本学は7学部13学科を擁する大学となり、学生数は2026年度で約5,800人となります。4つのキャンパスに分かれておりますが、ICTの活用などにより、多彩な学部学科が学問領域を超えてつながることをいっそう推進していきたいと思っております。

次に、本学の基礎教育科目「S-BASIC」についてです。

本学は、これまで4つのキャンパスに、それぞれの時代と社会の要請を受けて、順次学部学科を開設してまいりました。そのため、基礎教育のカリキュラムが異なっておりました。「一つの淑徳大学(One Shukutoku)」を目指し、共通した「学士力」を身に付けていただくために、2023年度の新入生からは基礎教育科目「S-BASIC」を整備し、統一したカリキュラムをスタートさせる予定です。この学士力に、学科の専門教育が加わり、「淑徳ならではの正課」による学士課程教育が構成されております。

さらに、単位取得を目指す正課教育と共に大切な正課外教育のさらなる充実です。2023年度からは「地域共生センター」の運用がスタートします。そこでは、人間力:人間関係を築くこと、感受性を磨くこと、社会性を育むことなどを、体験を通して高め、建学の精神を行動化していく「淑徳らしい学びの機会」を提供します。

本学は、建学の精神である「利他共生」(他者に生かされ、他者を生かし、他者と共に生きる)を実践する人材を育成するという目的のもと、時代と社会の要請に応えるべく、新たな取り組みを続けてまいります。



淑徳大学 学長
山口 光治



淑徳大学フェア2022 in 横浜

「淑徳大学フェア」は、広く本学を知っていただく場として、大学、協賛会、後援会、同窓会の共催により、2001年から3年に1回開催しております。

2022年度は第8回となり淑徳大学同窓会神奈川県支部の協力により、7月30日に神奈川県横浜市にあるワークピア横浜にて、消毒・検温やソーシャルディスタンスの徹底、会場への入場者制限など感染防止に万全の対策をとって開催し、

約200名近くの方々にご参加いただきました。

淑徳大学フェアの開催にあたり学長の山口光治より挨拶をさせていただきました。



講演会

講師 渡辺 一史 氏(ノンフィクションライター)
「なぜ人と人は支え合うのか」
—「障がい」から考える—
と題し講演が行われた。



第I部の司会進行を務めてくれた、東京キャンパス 表現学科3年生の寺原さん(左)、齊藤さん(右)。

講演では、映画化された「こんな夜更けにバナナかよ」の取材を通して実感されたこととして、「障がい者について考えることは実は健常者について考える事でもある。誰かを「支える」ことによって、じつは自分が支えられている」など、障がい者が社会にもたらす豊かさについて講話をいただきました。



進学相談会の様子



保護者懇談会の様子

第I部
山口学長挨拶

全体会
● 山口学長挨拶

第II部

● 保護者懇談会
● 進学相談会

本学、教職員による、在学生の保護者への懇談会と高校生を対象とした進学相談会が開催され、保護者の方々にも喜んでいただけました。

S-BASIC

-社会を生き抜く礎を学ぶために-

社会力の養成

科目例 【社会的・職業的自立I】

グループワークや卒業生・外部講師による体験談を通じ、働く意味や職業への興味・関心・勤労観などの醸成を図ると共に、自己分析や職業選択の考え方を学びます。

人間の理解

科目例 【人間心理と人間行動】

日常生活の中から心理状況に影響を与える事柄を取り上げて考察し、人間心理が与える人間行動の特徴を理解し、精神心理的な援助相談について考えていきます。

社会の理解

科目例 【情報社会とデータサイエンス】

身近になりつつあるデータやAIが社会の中でどのように使われているか、どのような技術があるのか、データ・AIの最新動向やAIの利活用の注意事項について学びます。

国際の理解

科目例 【地球環境と環境対策】

地球規模で生じている多様な環境現象を題材に取り上げ、環境への探究心を高め、汚染や破壊などの課題を認識して環境問題やその対策への理解を深める科目です。

学習力の養成

科目例 【利他共生】

本学の建学の精神「利他共生」を正しく理解し、本学で学ぶことの意義や意味を共に考えることを通じて、将来の目標を明確にする事を目的とした科目です。

思考力の養成

科目例 【問題解決法】

現代社会が直面する諸問題に関するテーマの考察を通じて、主体的に問題を発見し、解決に向けた方法の検討と選択する力を身につけることを目的とした科目です。

表現力の養成

科目例 【コミュニケーション英語Ⅲ(実践)】

ビジネスや社会生活全般で必要な日常英会話を中心とした、実践的コミュニケーション能力の習得を図る科目です。習熟度別、少人数制のクラスで行われます。

人間力の養成

科目例 【地域活動と社会貢献】

社会貢献の意義と役割を理解し、地域活動の現状と課題を認識した上で、ボランティアなどの体験を通じて社会発展のために積極的に関与する姿勢を養います。

S-BASICは学び続ける力を育むための基礎となる学び



学び続けるための
土壤をつくる



さまざまな学びや経験を
育み成長する



やがて社会で花開く
誰かのために学び続ける

建学の精神「利他共生」の大地に
植わった芽にS-BASICという水をやり、
この先の学びを支える地盤を固めます。

豊かな土壤に太い幹を形づくり、
専門教育や学生生活のさまざまな経験で
枝葉を伸ばします。

全学共通の基礎教育科目がスタート！

2023年4月から全学共通の基礎教育科目(S-BASIC)がスタートします。

これは、どの学部学科でも、これから社会を生き抜くために必要な基礎教育カリキュラムです。本学の建学の精神「利他共生」を原点として、8項目の多彩な学びが「淑徳人」としての基礎を築きます。これらを基礎として、専門教育科目へと学びを深め成長することを目指します。

地域創生とは、地域に住む人々の暮らしが豊かになり、「幸せ」を感じられる地域にしていくことです。地域社会と地域文化や地域産業の見方や考え方について理解し、地域調査や地域資源に関する知識と方法を身につけて、地域振興や地域活性化の推進に主体的かつ創造的に取り組むことができ、地域の発展と継承に貢献します。

New!!
2023年4月
開設

地域創生学科
【埼玉キャンパス】

大学HP
学科ページ



詳しくはこち
ら



新設
都巿と地域をつなぐ
埼玉で展開

New!!
2023年4月
開設

人文学部
人間科学科
【東京キャンパス】

大学HP
学科ページ



詳しくはこち
ら



新設
多様な人が集まる
東京で展開

人間科学とは「人間と何か？」をテーマに、幅広い角度から探求する学問です。人間を理解するために、人間の心理や、社会・教育との関係性など客観的な視点で研究を行います。本学の人間科学科では、心理・福祉・教育・健康の4領域から、「人間の生き方」「自分と他者」を理解していきます。そして、互いに尊重し合い、「人を支える力」を育みます。

2023年4月
東京キャンパスへ
移転

経営学部
経営学科・観光経営学科
【東京キャンパス】

東京キャンパスに移転を計画し、常に新しいビジネスが生まれる環境で企業経営に必要な専門知識や技能を身につけます。データサイエンスに対応したカリキュラムにより、座学で得た知識を実践実践での経験で知識の定着を図る「実践×理論型学習」や、リーダーシップや主体性の育成、向上を目指す「淑徳リーダーシップ・ディベロップメント・プログラム(SLDP)」で社会に応応する力を身につけます。

大学HP
学科ページ



詳しくはこち
ら



**キャンパス
移転**
ビジネスの最先端
東京で展開

地域創生学部 地域創生学科、人文学部 人間科学科を新設し、7学部13学科を擁する総合大学へと発展します。経営学部は東京キャンパスへ移転し、よりビジネスとの連携を重視していきます。

2023年
4月

新生淑徳大学はじまる！

共生社会の 創出を目指して

地域での活動、体験を通して「建学の精神の行動化」をいっそう推進するため、新たに地域共生センターを立ち上げました。2023年度より本格始動します。

淑徳大学 SDGsへの取り組み



淑徳大学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

淑徳大学は、社会の持続的かつ公正な発展に向けて、あらゆる教育研究活動、社会貢献活動を通じて、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」に積極的に取り組んでいます。SDGsが目指す“地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」”という理念に賛同し、2022年度より全学的なアクションプランも策定され、SDGs活動を一層推し進めているところです。そこで今回、淑徳大学の取り組み事例の一部を本誌にて紹介いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



淑徳大学SDGsへの取り組みはこちら



食糧支援の実施

淑徳大学ではコロナ禍で生活が苦しい大学生を支援するために、フードバンク等と提携し食糧の配布支援を行っています。廃棄となる食品を必要な人に届けることで、食品ロス問題や貧困問題に対する解決に取り組んできました。支援を受けた学生からは「アルバイト収入が減り、食費に困っていたので助かりました」とのお声をいただきました。

ロシア政府の軍事侵攻により、周辺国へと避難しているウクライナ国民の人道支援を行うべく、募金活動を全学的に進めてきました。集まった支援金は人道支援団体に寄付されます。本学は他にも、天災等による募金活動やボランティアを行っており、人々が安心して暮らせるようになるための活動に日々取り組んでいます。



SDGsステッカーによる啓発活動



ウクライナ人道支援活動



淑徳大学 学長 山口 光治

「他者と向き合い共に生き、共に生かし合う社会の実現と、生涯にわたり地域社会に貢献するという生き方」を学ぶプログラムを全キャンパスで展開しております。

統一的な大学改革が進む一方で、淑徳大学ならではの独自性を強調し、建学の精神を全面に打ち出した教育の具現化を計画的に進めてまいります。また本センターでは社会人や同窓生等）なども検討してまいります。
どうぞ期待ください。

学長あいさつ

淑徳大学は、1965年に学祖長谷川良信先生によって、千葉市に社会福祉の単科大学として開設されました。

開学から58年。2023年度からは、さらに新学部と新学科が開設され、7学部13学科を擁する大学になります。これまで以上に多彩な学びが展開されますが、建学以来貫して大切にしてきたのは「福祉のこころ」や、「福祉の哲学」です。

これらを座学だけではなく、地域での活動、体験を通して

学校教育法に基づき本学が実施する社会人・同窓生等を対象にした学習プログラムで、指定された科目やプログラムを履修すると、履修証明書と「淑徳大学ともいきコーディネーター」の名称が授与されます。

全学部学生を対象に展開される教育プログラムで、卒業までに指定された科目やプログラムを履修すると、認定証と「淑徳大学ともいきリーダー」の名称が授与されます。

淑徳大学履修証明プログラム

淑徳大学認定プログラム

ともいき学習プログラム

予定されているプログラム



災害ボランティア活動



スタディーツアー（復興支援プログラム）



学生ボランティア活動



パネルシニアキャラバン（復興支援プログラム）

ともいき体験



「地域とともに」
野老 真理子先生



「福祉のこころ」
阿部 志郎先生



「災害から命を守る」
岩佐 勝先生



「淑徳文化」
川真田 喜代子先生



ともいき基礎知識講座
ダイジェストはこちら

在学生
Student introduction
紹介

【学生×学長対談】 資格取得を通じて視野が広がり



山口 光治 学長



成田 龍矢さん

看護栄養学部 栄養学科4年

国家資格の管理栄養士を目指す中で、民間資格のフードスペシャリストにも挑戦した成田さん。自身で勉強法を工夫し、全国の受験者3,961人中第1位の成績で合格。資格取得のための勉強が他分野への学びにつながり、幅広い可能性をもたらすことについて、成田さんと山口光治学長が語り合いました。

資格勉強の過程で 学びの面白さを知る

フードスペシャリストの資格を取ろうと思ったきっかけを教えてください。

【成田】 フードスペシャリストは、食に関する幅広い知識と技術を身につけた食の専門家です。「おいしい」「楽しさ」「おもてなし」に重きを置いた知識や技術が求められます。もともと目指していた管理栄養士の資格勉強に役立つ部分が多いので、先に試験が実施されるフードスペシャリストも目指すことで学強すべてが運動していることに気づいたのですね。二つの資格にチャレンジできればと考えました。

【成田】 成田さんは、栄養学科の学生として栄養学を修めるという目標に向かう過程で、管理栄養士やフードスペシャリストの資格勉強すべてが運動していることに気づいたのですね。二つの資格にチャレンジしようという姿勢が素晴らしいです。

【成田】 成田さんは、栄養学科の学生として栄養学を修めるという目標に向かう過程で、管理栄養士やフードスペシャリストの資格勉強すべてが運動していることに気づいたのですね。二つの資格にチャレンジしようという姿勢が素晴らしいです。



【成田】 フードスペシャリストの試験は3年生の12月に実施されたので、2年生の春休みくらいから少しずつ始めました。まずは過去問を通り解き、3年生の7月ごろからは教科書の内容を自分なりにまとめていました。教科書に載っているたくさんの文字情報を、整理するという視点で分類したり表を使ったりして、パッと見て分かりやすいことを心掛け、パソコンで独自の参考書をつくっていました。



【成田】 はい。フードスペシャリストの試験科目は多岐にわたるため、理解に苦しむ科目もありました。先生の研究室を訪ねて質問すると、授業時間外にもきめ細やかに教えてくださいました。大学では資格取得のためのサポート体制が組まれています。授業や実習で様々な知識に触ることで、次第に問題を解くことが面白く感じるようになりました。

両方学ぶことでより相互理解が深まる実感がありました。

【学長】 非常に大切な気づきですね。学問研究は、どちらかというと狭く深く追究していくことが多い一方で、実学的な視点で見ると学際的な学びも重要です。成田さんの場合は、実際の食生活を支えると、いう面から材料入手する方法、調理する手段、流通経路、販売促進マーケティングなど、さまざまな分野の幅広い学びの必要性を感じたということでしょう。



【成田】 栄養学科では、管理栄養士やフードスペシャリストの資格を目指す学生が多いそうですね。

【成田】 はい。同じ目標に向かって学び合うという雰囲気があります。私が資格勉強を通して気づいた科目間のつながりを友達に伝えることもあります。フードスペシャリストの資格を目指して早めに勉強をしていたことが管理栄養士の資格勉強に役立っていると感じています。

【成田】 大学で得た知識を基盤に大学院進学を目指す

【学長】 各学部、学科でさまざまなお資格を目指せると思います。資格は就職に有利ということはもちろんです、学生自身の学びの達成度を測る指標にもなるので、なるべく多くの学生に挑戦してほしいです。大変な学年のキャリアサポートもより強化していくきます。次年度には、キャリア教育・支援センターが大学全体を統括し、各キャンパスにオフィスを設けて資格取得支援を行っていくことを考えています。

【成田】 最終的には博士課程まで進み、海外でも研究を深めてみたいですが、まだ、大学の学びの場が好きなので、いつか淑徳大学に戻り、教育という形で自分の研究を伝えることが出来ればとも考えています。

【成田】 母校で教育研究を、とう未来を聞き非常にうれしいです。研究は、社会や教育に還元する意識を持つて進めるに大きな意義があります。優れた教育は優れた研究に裏打ちされるので、ぜひ頑張ってください。

【成田】 本学在学時には、「韓国における佛教福祉活動と佛教的ターミナルケア」をテーマとした博士論文を執筆されました。尹様は当時について、立派な先生方や誠実で純粋な研究仲間に恵まれ、研究を完成させるに至ったと語られています。そしてこの度、淑徳大学に大変お世話になったとのことで、大学へのご恩に報いたいと多額のご寄付をくださいました。ご寄付いただいた資金の活用については、ご厚情に応えるべく、留学生に対する各種事業の活性化等に充当できればと考えております。

【成田】 科目間のつながりを感じました。例えば、管理栄養士の試験科目にある給食経営管理論が、フードスペシャリストで学ぶ経済学やマネジメント論とつながっていて、資格勉強をする中でどのようなことを感じましたか。

【成田】 はい。フードスペシャリストの試験科目は多岐にわたるため、理解に苦しむ科目もありました。先生の研究室を訪ねて質問すると、授業時間外にもきめ細やかに教えてくださいました。大学では資格取得のためのサポート体制が組まれています。授業や実習で様々な知識に触ることで、次第に問題を解くことが面白く感じるようになりました。

【成田】 はい。管理栄養士やフードスペシャリストの資格を目指す学生が多いそうですね。

【成田】 はい。同じ目標に向かって学び合うという雰囲気があります。私が資格勉強を通して気づいた科目間のつながりを友達に伝えることもあります。フードスペシャリストの資格を目指して早めに勉強をしていたことが管理栄養士の資格勉強に役立っていると感じています。

【成田】 大学で得た知識を基盤に大学院進学を目指す

【成田】 卒業後は大学院進学を考えています。学部で学んだ栄養学の知識やスキル、資格勉強を通じて得た幅広い分野の学びは、大学院で研究を進める際の基礎になりました。

社会福祉学博士第1号を授与された尹賢淑(ユンヒュンスク)様より多大なご寄付をいただきました

学祖・長谷川良信先生の足跡

—写真から広がる長谷川良信先生の世界—



▲ 淑徳女子農芸専門学校第一回入学式

1 良信先生の戦後復興

太平洋戦争敗戦にあたり、自身の間違いをさらけ出し、誤りを正すことを良信先生は行いました。厳しい戦時体制下で民間社会事業家・教育者としての活動を続けるために仕方がなかったとはいえ、国家権力と妥協したのではないかと良信先生は猛省しています。これが良信先生の戦後復興の第一歩になります。

5 良信先生の原動力

このように良信先生には、反省にもとづいて、つぎに進むという姿勢がありました。良信先生が生涯かけて教育に全力を傾けた原動力のひとつは、こうした姿勢から生まれたものでもあったということが伝わってきます。



▲ 1946年頃の良信先生

2 女子教育への決意

良信先生は、敗戦を契機に日本の再建のために、ますます女子の高等教育の重要性を認識していました。

じつは、良信先生は1944年淑徳高等女学校の校長に就任した直後から女子専門学校の設置を念願していました。関係各方面に精力的な折衝を行って、敗戦の混乱で少し遅れたものの、1946年には許可を得ることができ、「淑徳女子農芸専門学校」を開校します。良信先生が初代の校長をつとめました。

参考文献
長谷川匡俊「トゥギヤザー ウィズ ヒム」2020年
長谷川匡俊「学祖と沖縄と私」
淑徳大学一期生だより第13号
2022年7月

淑徳大学アーカイブス(千葉キャンパス1号館3F)▶



3 良信先生が目指した教育

戦争の反省に立って、これから時代を担う自主的な人間を育てるためには、宗教を根本に据えた一貫教育方式が最良の方法と良信先生は判断しました。そのため、幼児から高等教育までの教育を保障する総合学園の創設を急ぎました。水準以上の自主独立の人物を育てるには、徹底した人格教育が必要であると考えていました。

これが現在に続く「大乗淑徳学園」です。

4 沖縄と良信先生

のちに、良信先生は沖縄を訪問します。1962年7月のブラジル渡航直前のことでした。この3年後に淑徳大学が創立となります。長谷川匡俊氏(大乗淑徳学園 理事長)は、当時の沖縄が良信先生にとって「戦争を体験し、痛苦に反省してやまなかつた仏教者・福祉者・教育者としての「共悲」の存在ではなかつたか」と理解し、大学が開学間もない時期から沖縄出身の学生を積極的に受け入れてきた背景を推察しています。

大学時代に引き出しを増やす

自主性を重んじる

淑徳大学だからこそ、

やりたいことをやり切れた

【矢田部さんから学生へのメッセージ】

学生のうちに、たくさんの「引き出し」をつくることが大切です。やってみたいことには思い切って挑戦してください。やらないでいる後悔よりも、やってみてする後悔は、後に必ず生きるはず。また、大学は視野を広げるチャンスの場です。学生同士だけでなく先生とも積極的に関わり、さまざまな価値観や知識を得てください!



小学校教師として活動していたニカラグアにて

JICA (独立行政法人 国際協力機構) 矢田部 建佑さん

Yatabe Kensuke

国際コミュニケーション学部(当時)
人間環境学科 こども教育専攻(当時) 2013年卒
JICA埼玉デスク 国際協力推進員

卒業後はJICAの青年海外協力隊からニカラグアに派遣され、小学校教師として2年間活動しました。いつも学生目線に立って考えてくださり、時には将来の自分を見失わないように」という示唆もしていただき本当にありがとうございました。いつも元気で、自分の体験を還元していきたい人と人をつなげ、自分の体験を還元していきたい

(※)パネルシアター…淑徳大学発祥の文化・教材、パネル布を貼った舞台に絵や文字を貼り外したりしてお話を遊びで展開させる教育法表現法。

います。
だつたからこそ、自分のやりたいことすべてに挑戦し、道を切り開いていく力が身についたのだと思いません。
（※）パネルシアター…淑徳大学発祥の文化・教材、パネル布を貼った舞台に絵や文字を貼り外したりしてお話を遊びで展開させる教育法表現法。

道を切り開く力がついた
背中を押してくれる環境で
JICAや多文化共生を切り口にしたイベント、セミナーの開催が増えている
ました。途上国支援の現場では、いろいろな出来事が頻発します。思うような活動が出来ずに落ち込んでいた時、現地の子どもたちの純粋さに救われ、言葉や文化の壁を越えた人ととの関わり方を学びました。
現在JICAに所属し、埼玉県民の方々に国際協力への理解や参加を促す仕事をしています。県内を飛び回っての情報収集や、自治体教育機関・民間企業からの依頼を受け、国際協力や地域交流促進につながるイベント、セミナーの企画、実施が主な業務です。国際協力は遠い海外の話でなく、身近に出来ることもたくさんあることを知つてもらいたいと思っています。最近では、外国人と相互理解を図る多文化共生やSDGsを切り口に開するケースが増えています。国際協力を通じて人と人がつながっていくことを、また、マイノリティとして海外で生活した体験を社会に還元する使命も感じています。そのほか仕事のやりがいは、国際協力を通じて人と人がつながっていくこと。また、マイノリティとして海外で生活した体験を社会に還元する使命も感じています。そのほかにも、スペイン語圏の途上国との架け橋になることや、教師として子どもたちに私の経験を伝えることなど、まだまだやつてみたいことがあります。



大学でお世話になった先生方と今も続く交流



千葉第二キャンパス

千葉東病院との交流会を行いました 〈看護栄養学部 看護学科〉

8月8日(月)に千葉第二キャンパスにて、本学と連携協定を結んでいる国立病院機構千葉東病院との交流会を実施しました。看護学科3年生全員が対象でしたが、関心のある1年生や2年生も参加しました。

副看護部長立木啓子様のご挨拶の後、教育担当看護師長の瀧口宗弘様から、看護師の働き方やキャリアアップ、福利厚生など、参考になるご講話がありました。その後、本学卒業生の水門宏衣看護師、高橋真斗看護師から、実際に働いてみての実情や、就職に至った経緯のお話がありました。働きやすい環境が整っている千葉東病院では、多くの本学卒業生が活躍しています!今年も本学学生が就職を検討し、活躍してくれることを期待しています。



左から本学看護学科卒業後
1年目の水門宏衣看護師、
2年目の高橋真斗看護師



瀧口宗弘教育担当師長より大変有意義なご講話をいただきました

栄養学科新入生セミナーを開催しました 〈看護栄養学部 栄養学科〉

5月26日(木)に栄養学科新入生セミナーを開催しました。新入生の親睦を深めるための学科レクリエーション行事で、今年度はコロナ禍のために学内での実施となりました。今回は、自慢の料理紹介「私の推しメシ!」と題して、学生がおすすめする料理を紹介してもらいました。グループに分かれて、各自が考えてきたメニューの中から発表メニューを選び、家庭の自慢料理や、外食・市販品の再現やアレンジしたメニューなど、バラエティに富んだ料理の数々が紹介されました。最後に参加者全員の投票結果による上位者表彰が行われ、照れながらも賞品を手にする姿には初々しいものがありました。

入学後の2か月間、授業や課題提出などで苦労している中で息抜きになり、新たに出来た友人とともに大学生活を楽しんでいって欲しいですね。



苦心して(?)作った推しメシを披露しています。おいしそうですね!

「教育福祉」の学びの扉をひらく1年生 〈総合福祉学部 教育福祉学科〉

教育福祉学科に入学した1年生は、前期に「教育福祉総論」という科目を履修します。この科目は「教育と福祉」の両視点から「保育・教育」を見つめ、「教育と福祉」の基本的姿勢を培うことを目指しています。教育福祉学科ならではの授業ともいえるでしょう。「共生」や「人権」など様々なテーマに合わせ、今年度は学生や教育福祉学科の教員からの話を聞く機会も設けました。入学当初は初々しい面持ちだった1年生も、今では、育てられる者から育てる者としての使命感と責任感に目覚めた凛々しさを感じます。今後も様々な学びの扉をひらく、保育・教育職への学びを探求して欲しいと願っています。



障がいのある人によりそって行うノートテイクを、ノートテイク実行委員会の協力を得て体験しました



様々なテーマから「教育福祉」について考え方学ぶ1年生

SDGsと商品企画コース:キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティーの応援 〈コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科〉

コミュニティ研究Ⅱのこのコースは、キリンビバレッジ株式会社と組んで、「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」の販売を応援し、SDGsについての理解を深めながら、商品企画、スーパー「せんどう」におけるPRについて考えていくコースです。これまで、いちごティーに合う組み合わせを考え、POPを作成してきました。

7月20日(水)、アレンジティーのPOPを携えて、スーパー「せんどう」の5店舗(おゆみの店、ちはら台店、五井金杉店、五井中央店、千葉みなと店)で売り場づくりに挑戦しました。学生たちは協力しながら売り場を作り上げていく楽しさを学びました。2週間後、各店舗の売り上げデータを元に、どのPOP、売り場が効果的だったのかを比較します。学生たちの取り組みで企業のSDGsを応援することができるたいへん貴重な機会でした。



千葉みなと店



東京キャンパス

人文学部研究推進事業 演劇プロジェクト「大鏡」開幕 〈人文学部 歴史学科・表現学科〉

2022年3月に人文学部研究推進事業 演劇プロジェクト「大鏡」が東京キャンパスにて開催されました。このプロジェクトは、平安時代の貴族「藤原道長」を題材とし、人文学部の2学科の教員と学生が横断的に共同して取り組んできた映像と展示の制作作品となっています。コロナ禍において幕開けまでの道のりは決して平坦ではなく、当日の映像撮影は無観客ではありながら熱のこもった舞台となりました。また、東京図書館所蔵の紫式部日記絵詞の展示は、学生ならではの視点を多く取り入れた内容です。さまざまな発見や学びが深まるこのプロジェクトは今後もサークル活動の形で継続される予定となっており、次の展開に向けて多くの期待ができます。



本格的な衣装と舞台演出



紫式部日記絵詞の展示

新入生セミナーが学外にて開催されました 〈人文学部 歴史学科・表現学科〉

2022年4月16日(土)、人文学部の新入生セミナーが開催されました。感染症対策として外出制限のあった昨年までは、やむなく学内での開催となっていた新入生セミナー。日帰りではありますが2年ぶりに学外での開催です。歴史学科は「国立歴史民俗博物館」、「成田山新勝寺」、「千葉県立房総のむら」をバスで巡り、歴史に触れる展示品やパフォーマンスを楽しみました。表現学科は「西武園ゆうえんち」にて、アトラクションの演出や技術を楽しみながら多様な表現方法の学びを深めました。晴天にも恵まれ、開放的な環境で親睦を深めることができました。ピアカウンセラーのリードもあり、前日の学内プログラムよりも緊張がほぐれ、笑顔を見せていた新入生の姿が印象的でした。



懐かしさも演出する商店街セットを散策



博物館での文化財鑑賞

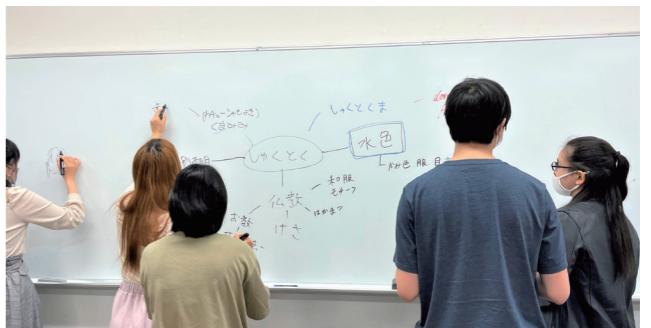
淑徳発Vtuber作成プロジェクトを発足しました 〈経営学部〉

2022年度教育改革推進事業に採択された「メタバース空間におけるオンデマンド授業発信プロジェクト」と並行する形で、経営学部1~3年生による「淑徳発Vtuber作成プロジェクト」を発足、活動を開始しました。企業でもDXが推進されている中、IT人材の育成の一環として、3Dアバターの作成や各編集ソフトの活用を通じてITスキルの向上を目指します。

第1回目はキックオフMTGでしたが、自己紹介を兼ねながら各自「どんなキャラクターを作りたいか」「『淑徳らしさ』を表現するためにどんな特徴を設けるべきか」についての闊達な議論が行われました。

成果物は10月に行われる淑徳祭にて展示予定で、進捗は今後Twitterで公開予定です。ぜひご覧ください。

twitterから随時更新予定です▶



プレインストーミングを用いて「淑徳とは?」についてイメージの共有を行っています



自己紹介をしながら、各自「どんなキャラクターを作りたいか」を話しています

教育学部運動会を3年ぶりに開催 〈教育学部〉

2022年5月14日(土)、埼玉キャンパス体育館で教育学部運動会を開催しました。教育学部の1年生とともに2、3年生の有志が参加し、約2時間の間、「サイコロリレー」「チェックリ玉入れ」等の競技を楽しみました。

新型コロナウイルス感染拡大により3年ぶりの開催となりました。

毎年、1年生がお揃いのシャツを作成し、それを着て参加します。1年生のときに運動会の開催がなかった2、3年生も、それぞれ自分の学年で作成したものを着て参加しました。また、ノウハウの継承が乏しい中、運動会の運営は教育学部フレンドシップ事業に参加する3年生が担ってくれました。

この行事は1年生にとって大学生活になじんでくる時期にあたります。各学年とも、仲間とのかかわりを深めるよい機会となりました。



サイコロリレー



学年ごとにおそろいのシャツを着ています



学園祭・ホームカミングデー

2022年度統一テーマ「NOVA～新生～」

●千葉キャンパス

龍澤祭

10/29(土)・10/30(日)



特設サイトはこちら

<https://chiba.shukutokufes.com>

●千葉第二キャンパス

翔蓮祭

10/29(土)



特設サイトはこちら

<https://chiba2.shukutokufes.com>

●埼玉キャンパス

淑徳祭

10/22(土)・10/23(日)



特設サイトはこちら

<https://saitama.shukutokufes.com>

●東京キャンパス

淑徳祭

11/12(土)・11/13(日)



特設サイトはこちら

<https://tokyo.shukutokufes.com>

オンラインでも開催します。詳細は特設サイトをご確認ください。

ホームカミングデー

●千葉キャンパス

●千葉第二キャンパス

10/29(土)

●埼玉キャンパス

10/23(日)

●東京キャンパス

11/12(土)

詳細は大学ホームページをご確認ください



<https://www.shukutoku.ac.jp/alumni/>

発行日 | 2022年10月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

大学広報誌制作における 新型コロナウイルス 感染防止策について

本誌の制作では、写真撮影は密を避けながら短時間で実施し、取材は電話やオンライン会議システムを活用しました。新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、制作にあたりました。

□千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巣寺町200
Tel 043-265-7331

□埼玉キャンパス

経営学部 教育学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

□千葉第二キャンパス

看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

□東京キャンパス

人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631

大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。

<https://forms.gle/ySaqXq5HXcfq9XJK9>



公式HP



公式Instagram



公式Twitter



アドミッションセンター^{公式Twitter}



公式Facebook



淑徳大学 | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、積極的に取り組んでいます。

その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。